



狛江市立狛江第五小学校だより 《学校の教育目標》 明るい子 考える子 強い子

がくとう

令和8年9月30日発行
校長 小宮山 詠美
10月号 No. 6

なかよしタイムについて

今年度から、1～6年生の児童が縦割り班で交流する「なかよしタイム」が復活しました。コロナ禍では交流そのものが難しい時期もありましたが、少しずつ異学年との関わりを増やし、交流の機会を積み重ねてきました。昨年度までは2学年ごとの交流(1・6年生、2・4年生、3・5年生)でしたが、今年度からは全学年で関わる活動となり、子供たちの様子にも少しずつ変化が見られています。

頼りになるのは、やはり6年生です。約20人の班員をまとめ、事前に活動内容や持ち物を話し合っ決めて、担当教員へ報告したり、職員室前の掲示板に予定表を掲示したりするのも6年生の役目です。1年生から6年生まで全員が楽しめること、教室内で安全に活動できること、遊びが偏らないよう工夫することなど、考えることは多くあります。それでも子供たちは互いに相談し、困ったときには教員の助言も受けながら、毎回意欲的に準備を進めています。

「なかよしタイム」の活動前には5年生が、活動後には4年生が、1年生の送迎を担当しています。当初は接し方に戸惑う様子も見られた4・5年生でしたが、元気いっぱい1年生に頼られたり、「ありがとう」と感謝されたり、少しずつ頼もしい上級生へと成長しています。その姿は、6年生とともに五小を支える存在として、とても心強く感じられます。

移動時間やトイレ休憩を含めると活動時間は20分程ですが、子供たちは夢中になって楽しんでいます。6年生から教わった遊びを気に入り、「教室でもやろう!」と話す子や、「次回も同じ遊びがいい!」とリクエストする子もいます。代表委員会が設置している「お悩みBOX」には、「なかよしタイムをもっと増やしてほしい」という声も寄せられました。それほど子供たちにとって魅力的な時間になっていることが伝わってきます。

異学年で関わる経験は、相手を思いやる気持ちや、自分の役割に責任をもって行動する力を育みます。これからも「なかよしタイム」を通して、一人一人が安心して過ごせる学校づくりと、互いを認め合い支え合う心を育てていきたいと思います。

10月の生活目標：「みんなで使うものや場所を大切にしよう」

「みんなで使うものや場所」は、学校生活の中の様々なところにあります。教室や廊下、図書室など、みんなが気持ちよく使うためには、一人一人が大切に使うことが必要です。「みんなで使う」ためには、使ったものを元にあった場所に返し、使った場所もきれいに整えておくことが必要です。また、人が見ているかどうかにかかわらず、次に使う人のことを考えて、きれいに使おうとする気持ちも大切です。いつも周囲のことを考え、進んで行動することができるよう、継続して指導していきます。

10月の給食目標「好き嫌いをしないで食べよう」

10月の保健目標「目を大切にしよう」

本校のHPには、子供たちの授業や活動の様子、行事の様子等をアップしています。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.komae.ed.jp/ele/05/>